

住宅でエネ自給自足



太陽光発電と蓄電池で電力を賄うモデルハウス
＝関市山王通

ヤマムラがモデルハウス

住宅建築、リフォームのヤマムラ(関市下之保)は、エネルギー自給自足住宅のモデルハウスを関市山王通の関営業所ショールーム隣に新築した。太陽光発電と大型蓄電池で家庭用電力を全て賄うほか、熱交換換気システムで花粉やウィルス対策の効果もある。

イシンホーム加盟店のヤマムラが、脱炭素社会へ向けた省エネ住宅として新築した。木造2階建て、延べ

111平方メートル。屋根に太陽光パネルを28枚設置し、年間約1万3千キロワットの発電能力がある。米電気自動車大手テスラ製の蓄電池(容量13・5キロワット時)を県内で初めて設置、フル蓄電で一般家庭1〜2日分の電力が賄える。余った電力は売電もできる。

建物は高气密、高断熱構造で、外気と室内の空気を一カ所ですり替える熱交換換気システムを採用。熱と

湿度を交換しながら換気することで室温が保たれ、電力も抑えられる。吸気部のフィルターで花粉や微粒子状物質「PM2.5」、ウィルスは除去される。

山村雅宏社長は「地球にも人にも優しい住宅。光熱費不要で、家がることと空気清浄機の機能を持っている」と話している。見学は10日から、予約が必要。問い合わせは電話0575(22)6437。